



卓球のフィンランドオープン(12月3〜6日、フィンランド・ヘルシンキ)に、専大から田添健汰(商2・希望が丘高)、鈴木李茄(商3・青森山田高)、安藤みなみ(商1・慶誠高)が日本学生連盟代表選手として出場し、女子シングルスで鈴木が優勝、安藤が準優勝

女子単 鈴木が優勝

安藤が準優勝 団体は男女ともV

卓球・フィンランドオープン



女子シングルの表彰式で笑顔の鈴木(中央)と安藤(左)

卓球のフィンランドオープン(12月3〜6日、フィンランド・ヘルシンキ)に、専大から田添健汰(商2・希望が丘高)、鈴木李茄(商3・青森山田高)、安藤みなみ(商1・慶誠高)が日本学生連盟代表選手として出場し、女子シングルスで鈴木が優勝、安藤が準優勝、安藤組が決勝

で日本勢同士の対戦を制し優勝。男子団体戦も日本勢同士の決勝となり、田添・上村慶哉(早大)組が優勝を収めた。

鈴木、安藤両選手の好調ぶりは初戦から表れていた。鈴木は2、3回戦、さらに準々決勝をストリートで勝利し、完璧な試合運びを見せた。安藤も初戦から大差で勝利すると準決勝をストリートで勝利、決勝へと駒を進めた。

シングルス、団体で2冠を達成した鈴木は「両方優勝できたことはよかったし、貴重な国際大会でこういった結果が出せたことは、とてもいい経験になった」と大会を振り返った。

1月の全日本卓球選手権に向けて鈴木は「国内で最も大きい大会なので、より上を目指し、ラバートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

箱根駅伝 関東学生連合

丸山「花の2区」で力走



丸山は各校のエースが集う「花の2区」に選ばれ、出場大学20校の選手を相手に力走した。オリンピック参加のため参考記録となってしまうが、1時間9分6秒の区間9位。チームとしては7位で受け取ったタスキを維持し、3区につなげた。

1月2、3日に第92回東京箱根間往復大学駅伝競走が行われ、関東学生連合チームの一人として専大からは丸山竜也(商3・専大松戸高)が出場した。

丸山は各校のエースが集う「花の2区」に選ばれ、出場大学20校の選手を相手に力走した。オリンピック参加のため参考記録となってしまうが、1時間9分6秒の区間9位。チームとしては7位で受け取ったタスキを維持し、3区につなげた。

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

丸山は「粘りの走りができたが、ラストで駒澤大に抜かれたことは悔しい。これからはラストスパートに磨きをかけて練習していきたい。来年、専大として出場するため

バスケットボール・全日本総合選手権

2年ぶり出場も初戦敗退

天皇杯全日本総合バスケットボール選手権の1回戦が1月1日、大田区総合体育館で行われ、2年ぶりの出場となった専大はNB12位の西宮スートクスと対戦した。立ち上がりは硬さが目立つも、この試合でチームトップの22得点を挙げた大沢希晴(経営1・長野俊英高)が流れを作りだし、点差を詰める。第3クォーターに入った

この試合で4年次生は引退となる。佐々木優一監督が「例年にも増して結束力を感じられた」と語ったように、シーズンを通して「チーム力」の

東実業団・関東大学対抗戦が12月19日、エスポルトアリーナ八王子で行われた。男子は専大から渡辺竜之佑(経営3・福岡第一高)が出場。開始早々、大学選抜が一気にリードを広げ、98-73の大差で勝利した。渡辺は10得点で勝利に貢献した。

飯岡花玲(商1・山形市立商高)と渡部友里奈(文1・昭和学院高)が出場した女子は、74-73の1点差で大学選抜が惜敗した。

最終的に意地の3ポイントシュートを決めた小西

最終的に意地の3ポイントシュートを決めた小西

「就職セミナー」を開催



伊勢原体育館で行われた就職セミナー

これは採用選考のスケジュールが2年連続で変更となり、体育会学生は、試合のシーズンと「就活」の時期が重なってしまったため、就職課の協力を得て開催したもので、両日で計180人の参加があった。

講師からは「早くから採用選考スケジュールに

対応するためには、とにかく早い準備を「体育会学生ならではの強み、志望動機の考え方」「オフの計画をたて、就活」にかける時間を作り出すこと「体育会活動と授業の両立が最も重要」といったアドバイ

また、就職活動を終えた4年次生3人が体験談を語り、「体育会で活動していることは強いPRポイントとなる。あきらめない気持ちを持って臨んでほしい」と後輩たちにエールを送った。

伊勢原体育館で活動している野球部、ラグビー部、馬術部、テニス部の部員たち約200人が12月19日、清掃活動を行った。

これは伊勢原市のクリーンキャンペーンに協力したもので、伊勢原駅北口より市役所体育館など3カ所に分かれて約20袋のごみを集めた。

参加した部員たち

参加した部員たち

監督交代

◇体操部
宮嶋敏幸氏(平11法) 〇レスリング部
久木留毅氏(昭63商)

国際大会 出場選手

◇卓球部
郡山北斗(経営1・関西高)

安藤みなみ(商1・慶誠高) サフィール国際オープン(2月23日〜3月11日) スウェーデン・オレボロ)

記録コーナー

◇体操部
▽5大学交流戦(12月5日) 【団体総合】2位 【個人総合】加藤直也(法1・日本大学東北高) 〇2位、池田智裕(商2・八王子学園八王子高) 〇3位

◇馬術部
▽JRAジャパンフリーディングホースショー(12月5日) 【第3競技110秒】大富祥貴(商2・栗東高) 〇3位

※スキー部の記録は2月号に掲載。

Sports Calendar

◇テニス部(女子)
▽関東大学対抗選手権 1月23、24日(各大学)

◇スキー部
▽全日本選手権クロスカントリースキー競技 1月25日(上山・防平ク

ロスカントリー競技場)